

# 技術士だより

(社) 日本技術士会九州支部・九州技術士センター夏季号<第44号> (平成12年6月15日発行)

## 巻頭言

### 技術士法の改正によせて

九州支部長 川崎 廸一 (福岡・建設)

この度、技術士法の一部が改正されて平成13年4月1日から施行されるが、これは「技術士審議会」から答申された「技術士制度の改善方策について」を受けたものである。

答申案や改正案の内容をみるに、事前の論議と比べて『大山鳴動して鼠一匹』の感がしないでもない。継続教育(研修)、更新制度、部門選択科目の編成替え、試験問題等の改善や特別(上級)技術士の創設等々は今後の検討課題とされて先送りされている。一気に改革を為し遂げることは困難でも10年もかかれば相当な変革があり得るので、今回の改正で大山が動き出した兆候が伺える。

今回の改正の理由、目的は、①技術士制度が時流に合わず、いわゆる制度疲労を来しており、多くの若い技術者に魅力のある制度にする必要がある。②APEC エンジニアの相互乗入れ等に見られる国際的な自由化の外圧に対応して、国際的に整合性のあるものにする。③その他、技術士の公益確保、資質向上の責務の追加となっている。

何といても今回の改正の最大の狙いは、世界貿易機関(WTO)のサービス産業の自由化に対応して国際的整合性をはかったことである。これによって技術士は『高級技術者』から『中堅技術者』的なイメージにならざるを得ない。その結果、多数の若い技術者の技術士が誕生するし、諸外国のエンジニアとの相互乗入れもスムーズにゆくし、国益にも叶うことになる。(当局では質を下げるとは云っていない)

わが国の現行の技術士制度でも、それなりの機能を果して定着しており、国際化のためといって何も技術士の質を下げる必要はないとの反対意見がある。物事の改革にあたっては必ず反対は付きものであるが、現状のままでは、国内では制度疲労を来し将来の展望が開けないし、国際的には整合性がとれず、わが国が孤立し不利益を被ることになるのである。

技術士の数が欧米諸国並みに多くなることは歓迎すべき一面もある。現在の技術士は名称独占、単なる称号であるのに対して、事業独占、職業法になる可能性が生まれてくる。現に公共事業のコンサルタント業務や、諸外国との技術者の相互乗入れ問題では、職業法的な運用がなされているといえる。

医師や弁護士、一級建築士等は、当該業務について必要にして十分な最低限の能力を国家が保証するもので、特に高級な能力を保証するものではない。また需要に対して十分な人数の供給が確保されねばならない。職業法への道はプロの技術者はすべて技術士となることが要請されるのである。以上より今回の技術士法の改正は、職業法への転換の第一歩を踏み出したとも云える。

最後に法律事項としてなじまないとのことで立ち消えとなった『特別(上級)技術士』を、(社)日本技術士会の認定資格として創設すべきである。技術士の数が増えれば層が厚くなるのは必定であるし『技師長』的な存在が必要となるからである。因みに昨年三峽ダムの現地研修で頂いた資料の中に、長江委員会(省庁と同じ)内部の認定による上級技術者(英訳シニアエンジニア)1000人(全体で6000人の技術者)の記述があった。

国家認定資格のなかでさらに上位ランクの認定については、権威ある学協会等で行なうこととして、特別な事前の試験勉強を必要としない業績と面接試験によるべきであると考えます。

# 1人でも多くの方の入会をお勧め下さい

## 私の提言

### 食、住、環、福、に向かって

九州支部監事 野見山 益生 (福岡・機械)

昨年4月より福岡・北九州地区の有志数名(専門は夫々異なる)で経営工学の田中先生の呼びかけで経営問題研究会を発足し、既に1年が経過した。月1回の会合(大体第4土曜日の午後)で、振り返って見ると、最初はあまり知らない言葉内容であったが、かなりの資料の蓄積でよく頑張ったものだと感心している。

因みにこれまでのカリキュラムは、

- \* 財務諸表のまとめ \* 損益分岐点分析
- \* 経営数字の見方 \* 設備投資問題
- \* 在庫管理問題 \* キャッシュフロー経営
- \* コンピュータによる経営管理
- \* 建設業の原価計算 \* 環境会計 (進行中)

で、私の提出したアウトプットは、

- \* 中小企業のための経営数字の見方 (Q&A)
- \* リースレンタル関連資料
- \* CIMの概要 (コンピュータ統括生産システム)
- \* ERP/SCMシステムの概要 (全社統合業務管理と供給者から消費者までの製品の流れ管理分析)

であった。

最初は貸借対照表、損益計算書の見方で基本的な事からスタートし、後半はキャッシュフロー経営、環境会計(環境への投資と成果を金額又は物量で評価する)に進行しており、暫く継続すると思われる。私の知識でCIM位までしか知らなかったものが、既に10年前の過去のものとなって、現在はキャッシュフロー経営へと変わっており、経営工学も進歩発展しているのを実感した。

私が技術士(建設機械)のライセンスにトライしたのは23年前で、当時超深度リバースの実証実験を大阪で実施していたのが始まりである。当時の記録では、建設省が深度110m垂直精度1/100であったが、私の計画は深度が150m、垂直精度1/300を目標に設定し、日本で初めての超深度用超音波測定器を開発現場に供した。画像処理が湿式であったため、乾くと不鮮明になり、あわててパラフィン塗布しなけ

ればならないものであった。

無事工事も予定の成果で完了したが、それから数年たって大型地下石油タンクの工事が始まり、超深度連壁(深度110m 精度1/500以上)でかなりきびしい精度が要求され、私の記録も過去のものとなってしまい、超音波測定器も乾式の画像処理になり、どの業者も自由に使いこなし、又油圧スタビで且つコンピュータ制御で、更に垂直精度は1/700~1/1000へと飛躍しているのが現状である。

建設機械展示会が2~3年に1回、千葉幕張、東京ビッグエッグで開催されていて、私は前回の展示内容とどう変わってきているか、建設機械の条件として、\*安全性 \*操作性 居住性、輸送性、\*環境対策がなされていること \*省力化を目的 \*多機能を保有しているか等を重点に、進歩している点を調査し見学するように心掛けている。

日本経済も10年前のバブル崩壊で、中小企業にも大きな影響をもたらしたが、その中であって、シェアNo.1の企業が648社、比較的の首都圏より地方に多く、その中で九州地区は約90社(13%)でその理由は、少子化で地方に優秀な人材が残っている事、地価が地方の方が安く設備も完備し易い事、又社長以下従業員に活気があり、常に海外の技術情報入手し、視野を広げている事等があげられる。

九州支部も地域活動が盛んで、勉強会も行われている情報もあり、大変結構な事と思っているが、始めるのは易く、続けるのは難しいといわれており、私はその会合の皆さんが夫々わずかでもアウトプットを出し合って、会の継続に寄与して行く事が肝要かと思っている。

日本はこれまで輸出産業に力点を置いて来たが、これからは、食、住、環、福、に重点をおいて、21世紀へつなげて行かねばと思っている。特に環境・福祉の問題を重要テーマに、元気印の九州支部の皆さんの活躍を祈っている。

## 自然・他の地域・次世代と共生する

### 技術士の倫理を求めて

九州技術士センター研修委員長 内山 順治（佐賀・林業）

2千年2月26日、世紀末を締めくくる標記行事が、博多パークホテルで行われました。地球生命系の存続を脅かしている、環境破壊、核兵器と放射能汚染、膨大なエネルギー消費と大量廃棄物、頻発する戦争、拡大する富みの偏在、薄れた尊敬と愛の心、等々20世紀の体験、地球環境と世界の社会経済の激変は、我々人類の生きざまと価値観を緊急かつ根本的に転換せねば未来はないという現実を突き付けています。

より速く、より能率的に、より大きく独占し、自己中心の利便性を求め、他の文化と生活価値観と信仰を認めず、強者が弱者に強制する行いが未曾有の悲惨と殺戮をもたらした。20世紀に果たした科学技術者の役割は総括され、今後の技術士の倫理構築に生かされているのか？今年も九州支部諸先生の教えを仰ぎながら、研修テーマを企画して参ります。

研修会は午後から3時間、新進技術士と一般会員に分れそれぞれ行われ好評でした。

研修会終了後、新進合格者の祝賀パーティーに移り、合格者のフレッシュな抱負や自己紹介の披露、先輩技術士の激励等があり、大変充実した研修の集いでした。

#### ◎平成11年度新進技術士研修（参加46名）

司会 畠中新二郎 研修副委員長

##### 1 『技術士としてのこの一年間』

講師 西日本技術開発株式会社 火力本部長  
安田 征三 技術士（電気電子部門）

電力事業、火力部門の技術者として30数年研鑽を積み、建設コンサルタントへ出向、沖縄電力、海外での企画立案と技術士業務の重要性を体験に基づき紹介された。

##### 2 『情報処理における技術士の視点と技術応用』

講師 (株)ベスト電器 情報システム部  
野村 利則 技術士（情報工学部門）

20数年自動車製造のプロセス制御、工程管理システムの企画、立案、設計、開発に従事、更にセ

ラミックス開発等のパソコンワークステーション構築運用の要点を開陳。

##### 3 『技術士としての心構え、活動事例』

（中国三峡ダム建設視察概要報告を含む）

講師 (株)アジア建設コンサルタント技術顧問  
清水 博和 技術士（建設部門）

技術士の生きざまと倫理、ボランティアとして社会に手伝える特技の研鑽、地域作りフォーラム、後輩の育成等、国、県、現場の豊富な技術体験をもとに抱負を語る。

#### ◎11年度末九州支部一般会員研修（参加90名）

司会 内山 順治 研修委員長

##### 1 『地球温暖化と森林の役割』

（途上国の現状と国際協力活動）

講師 九州大学熱帯農学センター長、大学院教授  
農博 矢幡 久 教授（JICA委員）

森林樹木は、その乾燥重量の1.6倍の二酸化炭素を取り込んでいる。減少した地球森林を増殖し温暖化を防ぐ活動と世界の動きを、ケニアの実績等スライドを交え報告。

##### 2 『計測と科学の方法』

講師 佐賀大学理工学部 都市工学科  
理博 岩尾 雄四郎 教授

計量法の猶予期限99年9月30日を経過、完全施行されている国際単位系（SI）への道、物理量と工業量、帰納と演繹、シュミレーション、相似則の正しい適用を解説

〔次回のセンター研修は〕

持続的循環社会に転換する政策、立法、計画、社会資本の構築に欠かせない、戦略的環境影響評価、ICA（ライフサイクルアセスメント）の手法。国際的に大活躍されている、最先端の研究者を九州支部に招いて御指導を仰ぐ予定。6月以後に皆様ご期待を乞う。

## 部会報告

### 第2回技術研修会（平成11年度）

#### 講演 2 題

第一部長 山谷 三郎（福岡・機械）

平成12年2月5日(土)午後1時10分より博多第一ホテル2階会議室にて、第1部会本年度第2回目の技術研修会を実施しました。当日の出席者は第1部会員（機械・電気電子・航空・船舶）と建設を含んで18名、また福岡、北九州、熊本、長崎からの参加者を得まして開催の運びとなりました。

まず冒頭挨拶、連絡事項に続いて、第1番目は13時10分より、「㈱九電工技術研究所の紹介と電気設備の開発事例について」の題名にて、技術士（電気電子部門）九電工技術研究所所長・森下明憲先生の講演でした。

概略内容は、㈱九電工（年売上2,460億円、資本金79億円、従業員数6,800名、本社福岡市）の技術研究所は社長直属であり、設置場所は佐賀県鳥栖市、現在40数名の研究所員により構成されていて、その開発主体分野は、電気技術開発分野、配電技術開発分野及び空調管技術開発分野に分かれています。

その中の電気技術関係の特微的開発製品の主なものは、①天井開口装置「天井はや太郎」と称し、天井開口作業が自在に行え、従来品に較べ約2～3倍の能率アップ可能製品、②ラジコン走行式自動照度測定装置、③デマンドコントローラによる省エネ装置等があります。面白い装置としては、ゴルフプレーの際先行者へのボール打ち込み防止用モニター監視システム等があります。

配電技術開発分野では、活線作業用ロボット車で、

これは地上より配電工事を自動で可能にする工事車両です。空調管技術開発分野では、①管自動加工システム、②ビル内の電気・空調・給排水・照明の防災・防犯を含む監視装置、③産業排水を含む水処理技術の研究開発、④蓄熱技術の研究開発等の紹介と報告があり、新分野の研究開発に意欲的に取り組んでいる状態がよく理解できました。

第2番目として、15時10分より「環境マネジメントによるコスト削減（ドイツ）と企業の環境会計実績（日本）の事例」の題名にて、技術士（機械部門）野見山益生先生の講演でした。

その概要内容は、ヨーロッパでは①シーメンス㈱（電気機械工業）②ルフトハンザ航空㈱（旅客航空・貨物運輸、サービス業）③健康・環境・栄養アクション協会 ④BAUMコンサルタント(有) ⑤環境保護㈱（BAUM・EPAG）（以上いずれもドイツ）⑥クレジット㈱（スイス・大企業）、日本では、①IBM（日本）、②ソニー㈱について、それぞれ企業体質に合った環境対策投資が、企業会計にどの様に影響を与えるかという問題についての実施例をあげ、エネルギーコストを含む、経費節約効果による企業経営改善について説明がありました。

その中、最もコスト削減効果が得られた条項として、(A)原料・補助材料・経営資材、(B)上水・下水、(C)エネルギーへの直接効果、(D)廃棄物処理、(E)交通輸送手段、(F)包装容器等について詳細説明がありました。

続いて泉館昭雄先生の連絡事項があり、盛会有意義にて終了しました。終了後希望参加者による「十徳屋」にて、和やかな雰囲気のもとで懇親会を持って解散としました。

気楽に原稿をお送り下さい

### 「技術士の声」原稿募集

「技術士だより」から、みなさんの気持ちが溢れて、生きいきした息吹がほとばしるようにしたいと思います。それでなんでも結構ですから、原稿をお送りください。例えば、

① なぜ技術士になったのか。

② 技術士になって判ったこと（よかった点、不足に思うことetc.）

③ 技術士としてこんな仕事をやりとげた。

④ いま、仕事のうで悩んでいること。

⑤ 技術士の組織に望むこと。

その他にもいろいろあると思います。気軽にお気持ちを書いてみてください。800～900字程度。送り先は事務局。FAX(092)432-4442です。

## 記念すべき

## 「第30回日韓技術士会議」を

## 福岡に迎えるにあたって

日韓技術士会実行小委員長 山口 一弘（福岡・建設）

## 1. はじめに

九州・福岡は、わが国において最も韓国に近く、そしてその交流も最も古いと言っても過言ではないと思います。

その福岡において、第30回という節目のときに、そして二千年紀という年に「日韓技術士会議」が開催されることは、日本技術士会九州支部にとって、まことに喜ばしいことです。日韓技術士会の皆様の来福を、心より歓迎したいものです。

## 2. 日韓技術士会議の経緯

当会議は、1971年（昭和46年）、日韓両国技術士会の了解のもと、次の目的により実施されることとなりました。

- 1) 両国の科学技術振興と産業及び経済発展を期する。
- 2) 両国技術士は、相互尊重し、共同発展及びその活用と効果の増大をはかり、これを実行する。
- 3) 両国技術士の本来の使命である技術士業務を一層強化し、かつ確保を図り、将来東南アジア等の技術協力について相互共助の道を開くものとする。
- 4) 両国技術士間の相互友誼の増進を具体化するため、書簡及び資料交換等のほか、毎年交代で相互親善訪問を継続する。

これまで、第1回は韓国・ソウル市で開催され、第2回は東京で行なわれました。そのあとソウル・東京で交互に開催されましたが、第22回からはソウル・東京を離れ、地方都市で開催されることになり、新潟市で開催されました。

また、第8回までは、両国技術士会の友好親善の場として運用されていましたが、第9回からは両国共通のテーマによるシンポジウム形式の会議に改められました。更に第22回からは、分科会が設けられ討議が行なわれるようになり、現在に至っています。

昨年は、第29回会議が韓国の釜山で「北東アジアの概況と、これからの技術経済協力の可能性」をメ

インテーマとして開催されました。今年福岡で開催されるということで、九州支部からは、古賀事務局長を含め、日本側参加83名中25名（30%）が出席しました。

## 3. 第30回日韓技術士会議について

実施要領については、後で詳述されますが、簡単に概要を述べますと、11月13日(月)から11月15日(水)にかけて、13日はシーホークホテルにおいて、合同シンポジウム及び分科会が開催されます。14日・15日は研修旅行で阿蘇別府方面へまいります。

合同シンポジウムのテーマは、「東アジア地域の環境問題」です。また、分科会テーマは、①環境、②技術と観光、③建設と安全、④技術者の資格、⑤英語による討議、です。

環境問題については、いまさら申すまでもなく、地球温暖化問題、オゾン層の問題など地球規模の問題から、大気汚染、海洋汚染、土壌汚染、森林問題、水問題等々、日韓共通のテーマとして、まことに時宜を得たものと考えます。大きな成果が得られますよう期待します。

## 4. おわりに

はじめに述べましたように、九州は地理的に、日本で韓国に一番近い位置にあります。また、我が国と韓国は歴史的に深い係わりを持って来ました。したがって古代より韓国からの文化を、いち早く吸収してきたわけであります。

他方、最近の日韓両国の関係は、金大中大統領になって、著しく改善され、非常に良好な関係になって参りました。例えば日本の演歌を日本語で歌えるようになりました。

このような時代こそ、これまでの九州の利点を生かし、今後の九州地域発展へつなげていくべきです。この意味からも、今回の日韓技術士会議を成功させたいものです。

九州支部会員の皆様の、絶大なご支援をお願いします。

## 会議・研修の実施計画

実行小委員会 田中 穰治（福岡・経営工学）

以前にも「技術士だより」41号で紹介しましたが、日韓技術士会議が11月13日(月)福岡市で行われます。今年が「ミレニアム」に当たり、会議も30回目と0が続くことから、韓国側でも縁起が良いと大変乗り気です。それよりも、会議の内容が回を追うごとに充実してきたことや、韓国第2の都市釜山と博多の間は、高速船やフェリーを利用すると手頃な価格で簡単に往復出来るので、韓国経済の回復とあいまって、今までにも増して多数の技術士の来日が予想されます。その他にも、北部九州は地理的に韓国に近いことから在日の親類縁者も多く、大会参加を機会に久しぶりに訪ねてみようと思われている方もいると思います。今までの会議参加者の傾向から考え合わせ、同伴者を含め100名以上になるのではないかと諸般の準備を進めています。

日韓技術士会議の参加資格は、技術士ばかりでなく、会員以外の、一般技術者・技術系学生（留学生）も含まれます。

私ども実行小委員会では、日韓技術士の皆さんの期待に背かぬよう、全力をあげて準備に取り組んでいます。是非とも一人でも多く参加して頂くようお願いいたします。

### § 1. 会議の内容

前にも述べたように、韓国でも日本と同様な技術士制度があり、両国技術士の情報交換と懇親の意味を含め、日韓交互に開催地を変えて毎年会議を開いています。主催は日韓の技術士会々長を委員長とする日韓技術士会議実行委員会が行いますが、会議の具体的内容については「日韓産業構造調査研究委員会」が行ないます。

今回は日本の番なので、上記委員会の日本側メンバーで構成された企画小委員会が、実施部隊である私ども九州の実行小委員会と緊密な連絡を取りながら計画を進めています。

今年の会議の共通テーマは時代を反映して、

『東アジアの環境問題』です。

地球環境問題について、日韓の技術士が国境を超

えてどのように取組んで行くかが主題となります。

午前：基調講演（日韓各1～2名）

午後：分科会（5分科会）

午前の基調講演は、同時通訳で「イヤホン」で聴取できます。

午後は次の5つの分科会に分かれ行われます。発表は国際会議らしく日・韓・英語どれでもOKです。各分科会には「日一韓」の逐次通訳がつきますが、第5分科会は英語セッションなので、通訳なしです。

第1分科会（環境問題）

第2分科会（技術士と観光）

第3分科会（建設と安全）

第4分科会（資格（APECエンジニア）問題）

第5分科会（英語発表：主として情報・通信）

分科会の座長は、座長経験のある企画小委員会のメンバーが行いますが、これを補佐する副座長は九州から出すよう依頼されています。

コミュニケーションについて、韓国の技術士の方で65歳以上ならば大部分の人は日本語の素養がありますし、ビジネス等で日本人と接する機会も多いせいから殆ど問題はありません。しかし、若い技術者の方とは英語になります。筆者は、昨年の釜山会議で英語セッションに参加しましたが、彼らの語学力も我々日本人と余り変わらないようです。どちらもネイティブランゲージではないので、恥ずかしがらずに意見の交換をして、相互理解を深めて下さい。

### § 2. 会議場・宿泊・レセプション等

会議場・宿泊設備・晩餐会は全て福岡市中央区の「シーホークホテル」で行います。

同ホテルは、「ダイエイ・ホークス」のフランチャイズ球場「福岡ドーム」のすぐ隣にある海に面した新しい高層ホテルです。近くには、韓国や中国の領事館もあり、環境絶佳の明るいニュータウンの中にあります。なお、宿泊費は高級ホテルに拘らず、交渉の結果かなりの「サービス」をしてもらったので、遠方から来られる方も安心して泊って下さい。

## 第30回日韓技術士会議

### § 3. 研修旅行

研修旅行として、11月14日から15日（福岡－阿蘇－別府－福岡）コースを予定しています。途中、熊本県産山村で「大蘇ダム」の工事現場と大分県日田市にある新設のビール工場の見学を予定しています。

地元の技術士の方々にはいろいろお世話になるかと思しますので、宜しくお願ひします。

会議開催中、韓国技術士の方と一緒に来られた奥様達には、福岡市内見物の「レディース・ツアー」も企画しています。もちろん、日本の方が参加されてもかまいません。

### § 4. お願ひ

本会議は、日韓の技術の交流を図ると共に、国際親善についても大きな意義をもっています。両国間に横たわる過去の不幸な歴史を乗り越えて真の友情を育むには、誠心誠意をもって遠来の客に当たることしかないと信じています。通訳や会場・ホテルの手配、会議やレセプションの司会、研修旅行の計画等プロに頼めばコストは掛かってもスマートな会議

にはなるでしょうが、各人の心に何か訴えるものを残せることが出来るでしょうか。

我々、実行小委員会は会議に参加する人たちの気持ちになって、少々泥臭くても飽く迄「手造り」の会議に撤しようと考えています。もちろん失敗は許されません。一人一人が責任をもって着実に進めますので応援して下さい。

釜山大会のレセプションの席上で、日韓技術士会幹部の奥様達が日本でもファンの多い桂銀淑（ケイ・ウンスク）さんや、趙容弼（チョウ・ヨンピル）さん達の歌、「釜山港へ帰れ」等を日本語と韓国語で交互に合唱され、素晴らしい国際親善をして頂きました。

私達も「手造り」で会を盛上げたいと思いますので、会員や家族の方で合唱・器楽演奏・マジック等が出来る方が居られましたら、自薦・他薦どちらでも結構です。九州支部実行小委員会までお知らせ下さい。（TEL 092-432-4441）

## 日韓技術士会議 福岡大会を成功させよう!!

実行小委員会 小出 剛（福岡・農業）

日本と韓国の技術士が情報交流を促進し、親善を深める目的で、昭和46年10月に第1回日韓技術士会議がソウル特別市で開催されました。以来、東京とソウルで交互に毎年開催され、平成3年からは両国の各地方都市で開催されて来ました。この会議の特色は、技術面はもとより文化、人脈の交流も図られて来た事です。特に両国技術士が協力して行えるような且つ時宜を得たテーマを設け、セミナー形式を取り入れた会議であること、研修旅行においてはテーマに関連した現地見学等のもとより、各地の風物に接する事で研鑽を積み重ねて来たところでもあります。

今年は西暦2000年の記念すべき第30回に当たり、この伝統ある大会が、いにしえから韓国と最もゆかりの深い九州・福岡市で来る11月13日(月)に開催される事となりました。

昨年は韓国・釜山市で行われましたが、韓国の方々の真心籠ったご配慮によって盛会裏に終了しました。今年は韓国からは最も近い距離でもあり、諸事情を考慮すると沢山の技術士及び同伴者の参加を予定しております。テーマは「東アジア地域の環境問題」となっており、誠に時宜を得た、現時点での最重要課題であり、19部門のいずれの技術士におかれても深い関心をお持ちと思います。日韓の技術士がシーホークホテル&リゾートに相集い、両国幹部の話や講演を伺い、分科会で議論し、晩餐会で交歓し、更には翌日からの研修ツアーで技術・文化の両面に関わる事物・風物に接し、互いに交流を深める等これらの意義深い催しは又とないチャンスとなりましょう。実行小委員会では運営内容の諸々に付いて「高質」「安価」「充足」を motto に目下懸命に準備作業中です。支部の皆さん全員参加を期待しています。どうぞ宜しくお願い!!

## 技術士法の改正が成立

「技術士法の一部を改正する法律」が国会で成立し、平成12年4月26日の官報に告示されました。平成13年4月1日から施行されます。この改正条項は、技術士試験（一次、二次）と技術士責務（公益確保と資質向上を追加）に関することが主体ですが「技術士制度の国際的整合性確保を図るとともに、良質技術士の一層の育成を図る必要性、及び技術士制度の一層の普及の重要性を認識して、とくに配慮すべき事項」が5項目付帯決議されています。

これからこの改正に則した施行令、政令、規則など必要な事項が逐次きめられる運びです。いよいよ

技術士制度改正が現実に一步を踏み出しました。

ところでこの改正については、昨年6月から技術士審議会で検討されてきた改善方策が基礎になっています。そこで去る2月23日の技術士審議会で報告された「技術士制度の改善方策について」の概要を紹介します。なおこれは本部発行「技術士」12年4月号に掲載されたものです。新しい技術士制度、今後技術士に期待されることなどが示されています。

また、平成15年3月31日まで（2年間）は、現行通り、実務経験が7年以上ある者は第2次試験を受験できることが経過措置として認められました。

〔広報委員会〕

## 技術士審議会「技術士制度の改善方策について」の概要

### 第1章 基本的な考え方

- 1-1 技術に携わる者の備えるべき倫理要件
- 技術が社会に及ぼす影響の大きさは、正の効果も負の効果も拡大する傾向。
  - 技術に携わる者は、高い職業倫理を備えることが必要。
- 1-2 急速に進展する技術者資格の国際的な相互承認への対応
- APECをはじめ技術者資格の国際相互承認が急速に具体化しており、わが国の技術者が不利益を被らないように技術者資格の国際的な同等性を確保することが重要。
- 1-3 質が高く、十分な数の技術者の育成、確保
- 技術者教育から、技術士資格付与、継続的な研鑽まで、一貫した整合性のあるシステムを構築し、機能することが重要。
- 1-4 有資格技術者の普及の必要性等
- 技術者資格の国際承認による影響、効果、また、技術士資格の重要性等について社会的な認識の喚起、増進を図りつつ、技術士資格の活用を飛躍的に拡大することが重要。
- 1-5 技術士の数
- 技術士の質を維持しつつ、志望者数の拡大により、技術士資格の保有者数の増大を図り、欧米程度の水準に向けて増大することを期待。
- 技術士：約4万人、米（PE）：約41万人、英

（CE）：約20万人

### 第2章 具体的改善方策

#### 1. 制度改善

##### (1) 職業倫理

公益を害することのないよう業務を行うことが技術士活動の前提である旨の社会的な責任を明示。

また、自己の能力範囲を超える場合には適切な専門的助力を得る。

職業倫理については、技術士試験や継続教育を通じて徹底。

##### (2) 技術士試験のあり方

○技術士の資格取得は、第一次試験を合格し、所要の実務経験を経て、第二次試験の合格の後、登録することを基本。

7年の実務経験のみをもって直接第二次試験を受験する場合を廃止。

○第一次試験は、国際的な同等性の確保の観点から、大学のエンジニアリング課程により修得すべき能力とともに、職業倫理等を確認。

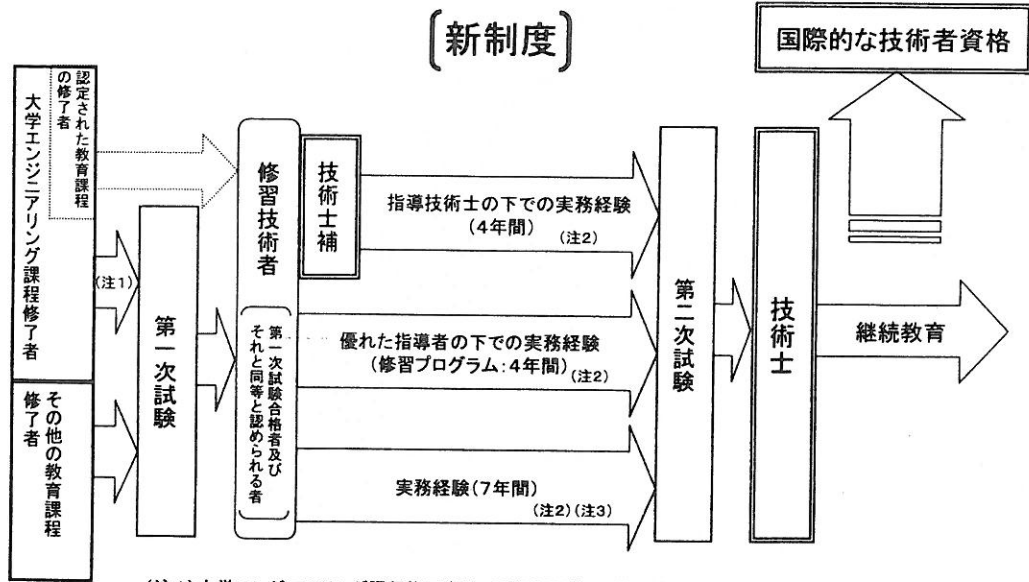
日本技術者教育認定機構（JABEE）による認定課程修了者については、優遇措置を講じる。

○第二次試験の受験要件は、

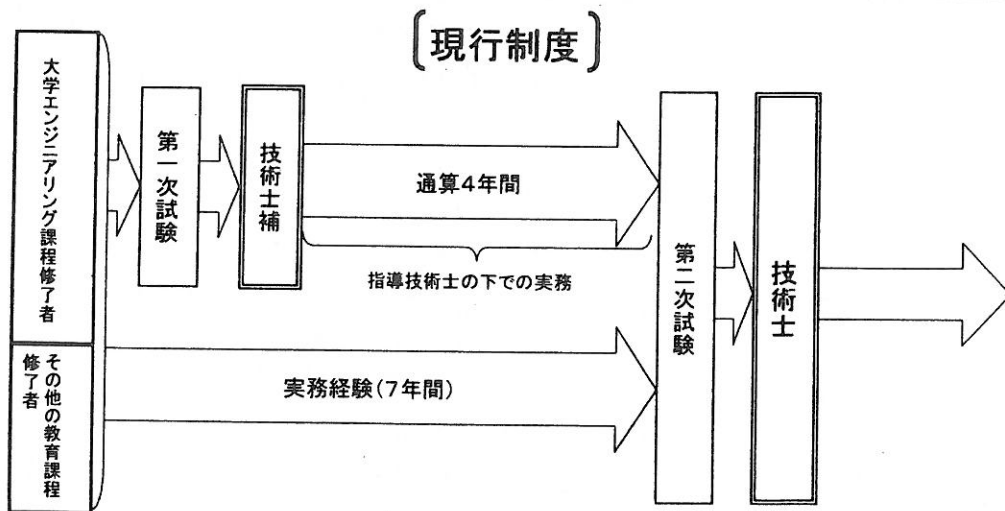
- 1) 技術士補の資格を得て技術士の指導の下、実務を集積（4年間）
- 2) 第一次試験の合格と7年間の実務経験に追加して、
- 3) 優れた技術者の下、実務を集積（修習プログ



## 技術士制度に係る基本的な仕組み



(注1) 大学エンジニアリング課程修了者は、現行と同様に、第一次試験における共通科目(数学、物理、化学、生物、地学からの選択)は免除。  
 (注2) 修士課程年数等については、内容等に応じて、実務経験年数として算入。また、第一次試験合格前における修士課程年数等についても、内容等に応じて同様に算入。  
 (注3) 第一次試験合格前の実務経験年数(専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究等の業務に従事した期間)についても、実務経験年数として算入。



ラム：4年間)とする。

これらに共通する呼称については、例えば修習技術者が考えられる。

- 技術部門：技術業務を俯瞰し、安全性の向上と経済性の向上を目指す総合的な技術的監理を行う能力を認定することについて、新たな部門の設置を検討。
- 試験実施方法：受験者の能力を適切に確認するため改善を検討。
- (3) 継続教育の導入
- (4) 外国の技術者資格を有する者の認定
- (5) 継続教育等における(社)日本技術士会と学協会等の連携協力

## 2. 技術士制度の普及拡大について

○資格取得の動機を付与し、受験者数の拡大を図るため、

- ① 技術士資格と業務資格との相互連携の促進
- ② 技術士資格を能力水準の証明(尺度)として活用

③ 修習技術者について、能力に応じた活用については検討、具体化を進め、政府及び産業界による技術士の活用を促進することが重要。

○技術士制度に関する社会的認識を喚起、増進するよう、政府及び関係機関は周知に努める。

〔本文は、日本技術士会ホームページをご覧ください。〕  
 URL <http://www.engineer.or.jp/>

## 地域活動

### 福岡

#### MCE福岡発足のご案内

設立発起人代表 真鍋 和義 (水道)

YCE福岡 (Young Consulting Engineers 福岡) が「人間交流」を目的とした任意の集まりとして平成4年に発足し、早くも8年が経過しました。多くの方に参加していただき、サロンの雰囲気の中でのその活動にはそれなりの評価がされていると思います。しかし会員資格を50歳未満としていることから、年を重ねるに連れ年齢オーバーとなって卒業され、又は入会希望はあるのだが最初から入会できなかった技術士が多数おられます。

そこでそのような方々を対象として、下記のようにMCE福岡、いわばYCE福岡のOB会的な集まりを発足させることとしました。

MCE福岡の概要はつぎのとおりです。

#### 1. 会の名称

MCE福岡 (Middle Consulting Engineers 福岡)

#### 2. 会の目的

業種の壁を超え、「人間交流」を通してプロとプロを結びつけるコーディネイト能力の向上を目的とする。

生まれた成果は地域社会に還元することを目的とする。

#### 3. 会員の構成

満年齢が50歳代の(社)日本技術士会会員または九州地方技術士センター会員のうち、福岡地区および近郊に勤務または在住する技術士。

#### 4. 定例会

1回/2ヶ月、原則として偶数月の木曜日に開催する。原則として出席者の会費により運営する。

#### 5. 運営委員会

この会の運営は運営委員(設立発起人+有志)の合議により運営する。運営委員会は原則として定例会を開催しない月の木曜日に開催する。

※MCE福岡設立発会式を別記のように開催します。多数の参加をお待ちしています。(16頁参照)

### 佐賀

#### 「さが長崎街道まつり」について

代表幹事 藤永 正弘 (建設)

今年、2000年は伊能忠敬が日本地図を作成するために測量を開始して200年目となります。

55歳から72歳までの17年間の彼の情熱と行動力は驚嘆に値します。

佐賀地区と佐賀県技術士会は、この機会に「さが長崎街道まつり交流委員会」を発足させ、長崎街道の通る佐賀、福岡、長崎の宿場・街道まつりを実施する地域おこし、街づくりのグループと連携しながら「さが長崎街道まつり」を実施致しております。

その目的は、長崎街道を歩いた先人たちの足跡を追いながら、21世紀を目前にした私たち一人ひとりが、「何をなすべきか？」を考え、そして、明日の佐賀(日本)をつくる一歩を踏みだすための啓発活動であります。

主な行事は下記の通りです。

#### 1)伊能忠敬展 4月28日～5月28日

佐賀県立美術館にて伊能地区、江戸時代末期からの測量器具、望遠鏡等の展示。

#### 2)伊能忠敬記念講演会 5月19日

佐賀県立美術館にて渡辺一郎先生の講演。  
演題「歩測で日本地図をつくった男」

#### 3)日蘭交流400年記念講演会 5月26日

佐嘉神社記念会館にて

①世界を見ていた英明藩士 小宮睦之先生

②オランダ東インド会社の古伊万里輸出

大橋康二先生

#### 4)鍋島直正とオランダ交流関係古文書・関連資料の

展示。 徴古館にて 5月29日～6月28日(予定)

#### 5)長崎街道関連地図・長崎街道を歩いた勤王の志士

や佐賀藩士の「座右の銘」「言行録」の揭示。

松原神社境内にて 5月29日より1ヶ月間。

#### 6)各地の宿場・街道まつり 1年間 各地にて

なお、他に平成12年度の地区行事として低平地市民セミナー(10月)、技術懇話会(11月)を予定しております。

## 大分

### 環境立県と 全国都市緑化おおいたフェア

原 千砂子 (建設・環境)

大分県は地方自治体で一番にISO14000を取得し、第九回地球環境大賞の「優秀環境自治体」に選ばれた。また、「環境基本条例」「環境影響評価条例」「生活環境保全条例」の環境3条例が制定され、「豊の国エコライフ」「ゴミゼロ大分」などの取り組みがはじまっている。

私は、環境部門の技術士ということで、景観から産廃まで5つの審議会の委員を委嘱され、県の取り組みを間近に見る立場にある。今回、ワールドカップサッカーの翌年(2003年)に開催される「全国都市緑化フェア」の懇談会に所属し、開催施設を見学した。

1つは現在建設中のスポーツ公園で、可動屋根をもつサッカースタジアムを中心とした約255haの総合運動公園である。ここは大分市中心部に最後に残

された里山であったため、その開発には論議が起きたが、今回の視察で「里山の復元」に大変努力されていることが感じられた。まず、溜め池を含む60haの樹林は保全エリアとして残されるほか、大きな木はそのまま園内に移植される。緩勾配の法面に苗木を植えて樹林の復元をはかり、最終的には公園の2/3が緑に覆われる。また、オオイタサンショウウオなどのために小さな池をたくさんつくり、ビオトープとしている。

私は開発前に研究団体に植生調査を行ったが30年近く人手の入らない里山は常緑樹林に変わり、溜め池に行く道もなかった。里山は人が利用してはじめて維持されるものであり、公園の緑としてよみがえることはうれしい。

もうひとつの開催場所は佐野植物公園で、ここは東部清掃センターの廃熱を利用した温室と処分場の上に土を盛ってつくられた公園であった。

視察を終えて、環境立県大分にふさわしい会場との印象を持った。ワールドカップだけでなく、「全国都市緑化おおいたフェア」にもおいでください。お待ちしております。

## 鹿児島

### 鹿児島県技術士会活動の近況

事務局 奥山 康宏 (建設)

青年部によるワーキンググループ活動の『環境』をテーマとした勉強会において、第1回産業廃棄物による環境汚染とその対策、講師、鹿児島大学理学部坂元隼雄教授(平成11年10月9日)第2回農村整備とビオトープ、講師、鹿児島県伊集院耕地事務所上野幸一所長(農業部門技術士)(平成12年1月29日)が実施された。次回には鹿児島県の環境行政について、講師、鹿児島県環境政策課馬場英俊課長(平成12年6月2日)が予定されている。

第1回産業廃棄物による環境汚染とその対策では、生活環境と化学物質について、①身近な環境、②ヒトと廃棄物(ごみ)問題で廃棄物の種類、排出量、埋めたて地と処理コスト、③廃棄物の抑制において環境への配慮、再利用、再資源化、有害廃棄物の処理、環境ホルモン、④今後の展望を求めて、であった。

第2回農村整備とビオトープでは、①鹿児島県の農村整備の現状で事業内容、実施状況、②望ましい

生態系保全のあり方としてビオトープとは、生物の多様性、ビオトープネットワークの必要性、③農村整備とビオトープとの関連性、④ビオトープに配置した農村整備の実施例整備の考え方、動植物の生態調査、調査概要、⑤ビオトープとミティゲーション(生態学的な補償)では、日本・アメリカ・ドイツのミティゲーション、⑥農村整備におけるビオトープの問題点として法体系の整備、農家や地域住民の自然生態系に対する価値観の高揚、野性生物実態調査、農村計画の理念、設計・工法での配慮、管理体制の充実等であった。

40名程度参加者ではあるが、各分野の技術者で組織する当技術士会では、環境は各分野に共通する重要なテーマとして今後勉強していく熱意が高い。

本県は地形、地質、気象的にも自然災害を被り易い条件下にある。会員はかねてから鹿児島県域の実状を工学的にも充分把握しており、県下唯一の異業種技術者集団としての意識が高い。平成12年2月災害調査ボランティア活動について行った会員の意識調査では、建設23名、応用理学5名、農業10名、環境1名、水道5名、情報1名、経営工学1名、計46名の参加可能な結果であった。

## I 地方分権と技術士の果たすべき役割

朝日 輝（宮崎・建設）

・地方分権の時代は、「自治責任」が問われる時代である。このため、自ら考え、自ら立案し、それを予算化し、実行に移した結果を自己チェックするとともに、地域住民の批判や支援を受けながら、行政改革を進める必要がある。

・一方、技術士は、自己の業務や地域社会への参画をとおして、地域社会に貢献するという、自覚がごく自然に身につけていることが大切であり、自己研鑽を積み重ねながら、「自主性」と「自立性」の要求される地方分権の時代に即して、グローバルな視点からの高度な判断力と技術力、洞察力、先見性、創意工夫などに裏づけられた業務を遂行することが望まれる。

・特に、自ら考え、自ら立案する地方分権の時代における「技術士の果たすべき役割」は大きく、地域住民や行政の意向を業務に十分反映させながら、未経験の喫緊の行政課題への対応、地方分権時代に対応できる政策立案への提言、地域アイデンティティの再構築、快適で活力ある地域づくりへの提言、個性ある公共施設の配置など多様化、高度化するニーズに即して、技術士の有する総合判断力や専門技術を活かして、地域社会に貢献することが基本要件となる。

・また国際化、高度情報化、広域連携の時代に対応して、国内はもとよりのこと国際的にも活躍できる技術士の養成を目指すことが肝要である。技術士が国際的にも十分通用するためには、技術力、語学力はもとよりのこと、自己の専門分野だけの視点でもの事を考えるのではなく、プロジェクトの目的に即して、大局的、総合的な観点からも自己の専門分野の「役割」や「位置づけ」を十分認識していることが大切である。この認識が欠落していると、「海外プロジェクト」に参画した場合、計画調査の目的から逸脱したピントのづれた詳細すぎる報告書を提示したり、専門分野に片寄り過ぎて、多大なエ

ネルギーを注いだわりには、あまり役に立たない原稿が提出されたりする。

・海外業務は正に「本物を試される場」であり、技術力、語学力などの他に、国際感覚、バランスの取れた思考性、協調性、現地適応力、異なった文化や習慣を自然体で受容できる性格、精神力、体力などが要求される。人によっては、うどん、そば、すしなどの日本食が食べられなかったり、長期間、家族と離れて暮らすため、ノイローゼ気味になったりする。そうになると、いくら国内で優秀だと言われる人でも十分能力を発揮できなくなる。

・「技術士のあるべき姿」の具現化を図るためには、発注者の理解と協力のもとに、コンサルタントや建設会社で働いている技術士や職員を、いわゆる「業者」として扱うのではなく、技術者としての主体性や自主性を尊重し、技術士や職員が有している技術、技能を十二分に引き出し、真の民間活力の導入を図ることが望まれる。また、技術士も建設的で知的な論争を通じて、完成度の高い権威ある提言を行政や地域住民に提示し、政策立案と実行に貢献していく必要がある。

・最近、県、市の職員など公務員出身の技術士が続々と誕生しつつあり、「技術士の本質」を発注者の立場から理解してもらうためにも、官民を超えて人事交流を活発化させるためにも、喜ばしい傾向がでてきている。

・今後は、時代のニーズを先取りして、地域が抱える様々な課題に対して、代案を提言し、多様な選択肢の中から、「現在の閉塞感を打ち破ることのできる具体的な提言」を行っていくことが不可欠である。そのための技術士の果たすべき役割は極めて重要であり、技術士の提言が重視されるよう、技術士の厳しいまでの自己研鑽と活発な技術交流、人的交流、国際交流が望まれる。(株)ダイワ・コンサルタント

## II

# ハワイ珍道中

柏原 公二郎 (長崎・応用理学)

昨年、末娘の結婚式でハワイに行って来た。

4月17日21時成田空港を発った。食後間もなく毛布が配られ「さあお休み下さい」である。座席を倒してみたがなかなか眠れず一列ぶんどって横になった。その内機内のカーテンが開かれ、まぶしい光が射し込んできた。ハワイ島はとても美しかった。案の定女房は飛行機酔いである。入管所のトイレに入ったまま一向に出てこない。娘にカッを入れられてやっと出て来たものの顔は真っ青、死人のようである。周囲の人達に前列に導かれ、入国審査官も何も聞かずに通してくれた。その間私は「サンキュー・サンキュー」の連発である。時差ボケのせいであろうか私も一両日は頭がボーとしていた。

空港からホテルまでは、平坦地と言っていいほど緩やかな溶岩台地の中を突っ走った。最高時速60マイルであるから日本の高速道路並である。

桜島溶岩道路の大規模なものと思えばよいが桜島は安山岩であるのに対し、こちらは玄武岩である。あちこちに溶岩流の跡が見られ流動性が高いせいか斜面を駆け上がったような形跡さえ見られた。所々に陥没地もあった。地質屋にとっては講釈なしの良い勉強である。

宿泊地内には交通手段として水路(乗合い船)の他、単線運転のモノレールがありトロッコが5輛程度つながって往復している。

珍事件はここで起きた。

結婚式も無事に終わりホテルに着き、いい気分でトロッコ一台を占領しタワー(宿泊施設)に向かっていた。停車中突然である。前の建物からモーニング姿とドレス姿の紳士淑女が、息せき切って走り寄り、ジュスチャー混じりに我々に「ワー、ワー、ワー、ワー」わめきちらした。何を言っているのかさっぱり判らない。何が何だか分けの判らないまま私は車を飛び降りた。続いて新郎のお父さんが飛び降りた。女房達もこれまた後に続いた。一瞬の出来事である。紳士淑女は変な顔をしていたが、その内彼らは気まぐすうに立ち去り、我々もまた語ることもなく二駅歩いて部屋に入った。その後この件については話すことをタブーとしている。いつか心理学者に会ったら

その時の心理状況を解き明かしてもらいたい。今考えるに彼らはパーティーに急いでおり、車輛がどちら向きに進むのかを我々に尋ねたものと推察する。今更分かってはどうにもならない。



コナ空港のロビーは植物園のような所で、待合室は青天井で、椰子の木陰をぬって吹く風はとても心地い。ベンチに座っていると異様な団体が隊列を組んで現れた。冬の制服を着た男性一団が汗を流しながら通り過ぎた。どこの東洋人かと思ったらどうやら日本人である。話しかけてみると親しそうに返事が返ってきた。彼らは東北地方の某中学校の修学旅行生で、上着を脱がないのは「脱ぐと置き忘れるから飛行機に乗るまで着ておれ」と先生に言われたためらしい。なるほどその深い背景が分かった。が、反面複雑な気持になった。

食事は概して美味しかった。野菜・果物が日本と違ってとても硬い。野菜には繊維が多く果物は果肉が締まってとても歯ごたえがある。イチゴは味こそ変わらぬが人参をかじっているような気がした。それに比べれば日本の野菜・果物はとても柔らかい。食物に含まれる水分の割合が少ないせいかウンコが硬くなってきた。

帰りは飛行機酔いもなく楽であった。

日本のスチュワーデスさんがかもし出す雰囲気はとても柔らかく感じられた。それはあたかも果物の違いのようにも思えた。

単なる気のせいであろうか?

(柏原地質研究所)

今回は「公害防止管理者」についてです。

この資格は技術士のような独立開業型の国家資格ではなく、公害発生施設を有する「特定工場」では絶対に必要な資格です。しかし、環境問題に関与しておられる技術士の方々には、環境カウンセラーの資格と同様に、地方自治体等の仕事をする上において、相手先に自身の公害に関する技術レベルを証明するための有効な手段であることは多言を要しません。

資格の取得には国家試験による方法と、資格認定講習の受講による方法がありますが、後者は特定の技術士（化学部門、非鉄冶金を選択された金属部門、水道部門、水質管理を選択された衛生工学部門、農芸化学を選択された農業部門、機械加工又は加工機を選択された機械部門、物理または化学を選択された応用理学部門）ならば3日間の講習で取得出来ます。ただし、資格の種類が限定されるので注意して下さい。同じ種類の資格で\*上位種別を希望する場合や、他部門の技術士は試験を受けねばなりません。

\* (上位) 大気・水質1種→3種→2種→4種(下位)

### § 1. 資格と種類の試験

#### (1) 資格の種類 (13種類)

- ①大気1種 ①'水質1種：有害物質を含む排煙・排水
- ②大気2種 ②'水質2種： " 含まぬ "
- ③大気3種 ③'水質3種：有害物質を含む排煙・排水
- ④大気4種 ④'水質4種： " 含まぬ "

\* 1：3種，2：4種の違いは排出量の多少です。

- ⑤特定粉塵 ⑤'一般粉塵

\* 大気1種～4種の試験には⑤及び⑤'が含まれますので、大気資格の合格者は自動的に⑤及び⑤'の資格も実質的に持つこととなります。

- ⑥騒音 ⑦振動

- ⑧主任管理者

\* 大気1種で水質1種または水質3種，大気3種と水質1種，及び(上記の大気と水質が逆の場合)の組合せで資格を取れば，主任管理者の資格を取らなくとも主任管理者になることが出来ます。

#### (2) 試験の内容

- i) 公害概論， ii) 各関係法令， iii) 各公害防止技術，
- iv) 各公害測定技術， ①， ①' は他に v) 有害物質処理

#### (3) 試験の方法と合格率

試験は全て5肢選択で，問題の数や試験時間は資格の種類，種別(1種～4種)によって違います。

試験は9月最終日曜日と10月最初の日曜日で，試験区分で異なり，発表は12月中旬です。合格レベルは概ね60～70%とされています。合格率は資格の種類，種別によって違いますが，平均20%前後のようです。

### § 2. 認定講習

#### (1) 認定講習受講資格者

- ① 特定技術資格：特定部門技術士，薬剤師，特級・一級ボイラー技師等

- ② 学歴及び実務経験資格： — 略 —

#### (2) 技術士部門と取得可能資格

認定講習受講可能な技術士	取得資格
化学部門 非鉄冶金選択の金属部門	大気2種
化学部門 水質管理選択の衛生工学部門	水質2種
農芸化学選択の農業部門	水質4種
機械加工・加工機選択の機械部門 物理・化学選択の応用物理部門	騒音又は振動

#### (3) 認定講習の受講方法

- ① (社)産業環境管理協会・公害防止管理センター及びその支部(九州分室：092-441-2054)の主催で11月中旬～2月下旬の3日間実施

#### ② 認定講習の流れ

- i) 案内及び仮申込書入手

- ii) 仮申込み

- iii) 書類審査→認められない場合→ [不可通知]



- iv) 認められた場合→ [受講通知] (本申込書同封)

- v) 本申込み

- vi) 資格認定講習→最後に1時間の小テストあり  
[受講料 16,500円(非課税) テキスト代別]

- vii) 修了証書=資格取得(4月上旬)

受講希望者が予定人員(120から180名)をオーバーした場合には、「公害防止管理者未選任工場」の勤務者が優先されます。

文責：田中(経営工学) 092-523-2624

# 会員ニュース

## ☆社団法人日本技術士会（九州支部）入会

(地区)	(区分)	(氏名)	(部門)	(上段：連絡先／下段：勤務先) 〈連絡先と勤務先が同じ場合、連絡先のみ〉	☎	FAX
福岡	正会員	武部 茂	水道	〒818-0001 筑紫野市光が丘5-9-4 勤：富洋設計(株)九州支社	☎(092)781-0336	☎(092)926-6241 FAX(092)781-8357
北九州	正会員	岸田 徳康	水道	〒809-0018 中間市通谷4-3-8 勤：東武計画(株)コンサルタント事業本部九州事務所	☎(092)476-3712	FAX(092)476-3719
福岡	正会員	矢野 武彦	農業	〒830-0072 久留米市安武町安武本3191 勤：内外エンジニアリング(株)	☎(092)431-2851	☎(0942)27-3643 FAX(092)451-5027
福岡	正会員	黒木 俊二	衛生工学	〒814-0165 福岡市早良区次郎丸1-2-22 勤：(株)日建設計東京本社	☎(03)3813-3361	☎(092)871-8542 FAX(03)3814-4134
長崎	正会員	岩永 英樹	機械	〒852-8027 長崎市城山台1-42-1-418 勤：三菱電機エンジニアリング(株)	☎(095)864-2376	☎(092)862-6027 FAX(095)864-2904
鹿児島	正会員	柴山 修一	建設	〒891-1204 鹿児島市花野光ヶ丘2-14-7 勤：(株)萩原技研	☎(099)222-8700	☎(099)228-0129 FAX(099)222-6100
大分	正会員	吉良 文至	建設	〒870-0828 大分市城南山手台1-4 勤：東洋技術(株)	☎(097)554-5330	☎(097)544-1746 FAX(097)554-5327
長崎	正会員	松尾 元春	水道	〒851-2126 長崎県西彼杵郡長与町吉無田郷859-16 勤：アジアエンジニアリング(株)	☎(095)845-9493	☎(095)883-7474 FAX(095)845-0129
北九州	正会員	和田 洋二	金属	〒808-0144 北九州市若松区高須東1-9-11 勤：山九(株)営業総括本部	☎(093)645-7261	☎(093)741-3505 FAX(093)644-1132
北九州	正会員	岩本 浩	建設	〒807-0141 福岡県遠賀郡芦屋町山鹿544-9 勤：環境テクノス(株)	☎(093)883-0150	☎(093)223-3768 FAX(093)883-0701
福岡	準会員	森口奈々子	建設	〒815-0032 福岡市南区塩原1-20-8 大橋の野コーポ202号	☎(092)553-1539	

## ☆九州技術士センター 入会

(地区)	(区分)	(氏名)	(部門)	(上段：連絡先／下段：勤務先) 〈連絡先と勤務先が同じ場合、連絡先のみ〉	☎	FAX
佐賀	正会員	南嶋 佳典	建設	〒849-0123 佐賀県三養基郡上峰町坊所2492-2 勤：建設省九州地方建設局	☎(0952)53-7155	☎(092)471-6331
宮崎	正会員	飛松 二郎	農業	〒884-0002 宮崎県児湯郡高鍋町北高鍋2762-6 勤：宮崎県農政水産部農政企画課	☎(0985)26-7427	☎(0983)22-4780 FAX(0985)26-7307
宮崎	正会員	田代 秀雄	農業	〒880-0212 宮崎県宮崎郡佐土原町下那珂4518-421 勤：宮崎県農政水産部農村建設課	☎(0985)26-7343	☎(0985)73-6816 FAX(0985)26-7343
福岡	正会員	箱嶋 次雄	水道	〒812-0053 福岡市東区箱崎1-40-14 勤：福岡市下水道局	☎(092)483-3190	☎(092)641-1784 FAX(092)483-3252
北九州	正会員	大八木象司	電気電子	〒802-0836 北九州市小倉南区石田南1-5-26-502 勤：大八木技術士事務所		☎(093)963-3634
福岡	正会員	跡部 康秀	電気電子	〒819-0001 福岡市西区小戸3-50-41-306 勤：(株)福岡総合展示場	☎(092)283-1983	☎(092)881-4225 FAX(092)283-1984
福岡	正会員	加治屋義信	建設	〒815-0073 福岡市南区大池1-1-48 勤：福岡市総務局企画部		☎(092)553-3873 ☎(092)711-4089

## ☆会員連絡先（住所）および勤務先変更

(地区)	(区分)	(氏名)	(部門)	(変更)	☎	FAX
福岡	正会員	田中 武	建設	勤：〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街7-2 博多SSビル2F (株)九州トンネル研究所	☎(092)434-6170	
福岡	正会員	金光 英雄	建設	勤：〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-4-5 カワイビル4F 西日本建技(株)	☎(092)441-7676	FAX(092)414-8560
宮崎	正会員	田野慎一郎	建設	連：〒884-0002 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋4317-1 勤：〒884-0104 宮崎県児湯郡木城町大字石河内1222 (株)青木建設九州支店小丸川ダム作業所	☎(0983)21-1377	FAX(0983)21-7012
北九州	正会員	岩下 任氏	農業	勤：〒826-0044 田川市大字位登1270 三幸設計(株)	☎(0947)46-0212	FAX(0947)45-4822

北九州	正会員	入江 大	建設	勤	〒803-0801 北九州市小倉北区西港町10-5 九州工管(株)福岡事務所	☎(093)583-5314
大分	正会員	野中 久光	建設	勤	〒871-0014 中津市中央町1-2-35 (株)白石総合コンサルタント	☎(0979)23-0136 FAX(0979)23-1644
佐賀	正会員	成内 律男	応用理学	勤	〒846-0012 多久市東多久町別府2949-1057 成大技術士事務所	☎(0952)76-2932 FAX(0952)76-2932
佐賀	正会員	大串 正	建設	勤	〒846-0012 多久市東多久町別府2949-1057 成大技術士事務所	☎(0952)76-2932 FAX(0952)76-2932
福岡	準会員	濱田 裕司	経営工学	連	〒830-0048 久留米市梅満町412-8 第2 梅満マンション502号	☎(0942)36-9600
福岡	正会員	森田 昭廣	建設	勤	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-10-7 九州地方建設局河川部河川工事課	☎(092)471-6331(内)3716 FAX(092)476-3472
福岡	正会員	森 弘光	建設	勤	〒813-0041 福岡市東区水谷1-23-3-53 九州地方建設局企画部	☎(092)471-6331(代)
福岡	準会員	曾根 好則	建設	連	〒810-0014 福岡市中央区平尾1-11-27 平尾コーポ201	☎(092)524-5760
福岡	正会員	齊藤 清美	衛生工学	連	〒811-2101 粕屋郡宇美町宇美1425-1	☎(092)932-0909
福岡	正会員	山本 隆利	建設	勤	〒882-0802 延岡市野地町4丁目3179-1-406 九地建延岡工事事務所	☎(0982)31-1155
福岡	正会員	加治木博明	水道	連	〒819-0041 福岡市西区西の丘3-24-13	
福岡	正会員	中村 勲	建設	勤	〒876-0813 佐伯市長島町4-14-14 九地建佐伯工事事務所	☎(0972)22-1880(代)
北九州	正会員	益田 栄成	建設	勤	〒800-0222 北九州市小倉南区中曽根5-7-23 開発コンサルタント(株)九州支店	☎(093)551-0831 FAX(093)512-6085
福岡	正会員	佐藤 修治	機械	勤	〒830-0023 久留米市中央町19-5 建設省宿舍1-403 建設省九州技術事務所機械課	☎(0942)37-0427 FAX(0942)34-0427
福岡	正会員	川井 優	建設	勤	〒224-0029 横浜市都筑区南山田1-3-2-206 松尾建設(株)	
北九州	正会員	竹内 良治	建設水道 衛生工学	勤	〒804-0082 北九州市戸畑区新池1-2-1 北九州市環境科学研究所	☎(093)882-0333 FAX(093)871-2535
佐賀	正会員	山田 清	建設林業	連	〒849-0937 佐賀市鍋島5-10-30	
福岡	正会員	原口 善光	応用理学	連	〒838 小郡市美鈴が丘3-10-6-0101	☎(0942)75-6177
佐賀	正会員	植田 雅典	建設	勤	〒848-0027 伊万里市立花町2300-94 (株)扶桑エンジニアリング	☎(0955)23-6616 ☎(0955)22-4171
福岡	正会員	満下 直紀	建設	連	〒814-0006 福岡市早良区百道1-31-23	

## MCE福岡設立発会式のご案内

設立発起人代表 真鍋 和義 (福岡・水道)

10ページにMCE福岡発足の案内を掲載していますが、設立を記念して講演会及び懇親パーティを下記の様に開催することになりました。MCE福岡参加資格のある方だけでなく、また技術士に限らず一般の方の参加も歓迎致します。多数のご参加お待ちしております。

### 記

日 時 平成12年7月22日(土) 16:00~20:00  
 会場 ホテルクリオコート博多 福岡市博多区博多駅中央街5-3 TEL:092-472-1111  
 会費 6,000円(講演会費1,000円, パーティー費5,000円) 講演会のみ, パーティーのみの参加でも可。  
 スケジュール 15:00~17:00 設立趣旨説明及び特別講演「農業がつくる自然環境」  
 講師 農と自然の研究所 代表理事 宇根 豊  
 18:00~20:00 懇親パーティ  
 参加申し込み 参加希望の方は氏名, 所属, 年齢, 連絡先住所, TEL, FAX番号を明記し, 7月18日(火)までに  
 FAXで下記までご送付願います。

申し込み・問い合わせ先

MCE福岡発起人代表 真鍋 和義

勤務先 福岡市環境局工場整備課廃棄物試験研究センター (FAX:092-892-1001, ☎:092-891-3433)



## 御協力いただいている 賛 助 会 員

- 〔福岡〕-----
- (株)久栄総合コンサルタント  
 日本航測(株)  
 (株)建設環境研究所  
 (株)唯設計事務所  
 日本建設コンサルタント(株)九州支店  
 中央開発(株)九州事業部  
 (株)ダイヤコンサルタント西日本支社  
 福岡支店  
 日本工営(株)福岡支店  
 昭和地下工業(株)  
 第一復建(株)  
 (株)松本組  
 (株)エスケイエンジニアリング  
 (株)東亜コンサルタント  
 (株)福山コンサルタント  
 (株)東京建設コンサルタント九州支店  
 東亜建設技術(株)  
 精巧測量(株)福岡支店  
 東邦地下工機(株)  
 大成ジオテック(株)  
 末永コンサルタント(株)  
 富洋設計(株)九州支社  
 九州建設コンサルタント(株)福岡支店  
 応用地質(株)九州支社  
 日本海洋コンサルタント(株)  
 九州事務所  
 (株)サンコンサル  
 芳野測量設計(株)  
 (株)橋梁コンサルタント福岡支社  
 (株)アイ・エヌ・エー九州支社  
 (株)九州地質コンサルタント  
 (株)タイヨー設計  
 三井共同建設コンサルタント(株)  
 九州支社  
 日鉄鉦コンサルタント(株)九州支店  
 (株)大建  
 (株)エム・ケー・コンサルタント  
 (株)エス・ピー・エンジニアリング  
 (株)アジア建設コンサルタント  
 新地研工業(株)  
 (株)カミナガ  
 (株)構造技術センター  
 平和測量設計(株)  
 基礎地盤コンサルタント(株)九州支社  
 (株)高崎総合コンサルタント  
 西日本コントラクト(株)  
 西鉄シーイーコンサルタント(株)  
 町田電気管理・技術士事務所
- 日本地研(株)  
 第一設計(株)  
 九州環境技術研究所  
 西日本技術開発(株)  
 (株)富士ピーエス  
 日本技術開発(株)
- 〔北九州〕-----
- (株)吾水総合コンサルタント  
 九和設計(株)  
 (株)都市開発コンサルタント  
 九州テクニサーチ(株)  
 第一復建(株)九州事務所  
 (株)松尾設計  
 (株)酒見設計  
 (株)太平設計  
 冷牟田設計コンサルタント(株)  
 山九(株)鉄鋼事業本部鉄鋼技術部  
 (株)日鉄エレックス  
 (株)安川電機  
 (株)中村測建
- 〔佐賀〕-----
- (株)精工コンサルタント  
 新九州測量設計(株)  
 日本建設技術(株)  
 (株)九州構造設計  
 西日本総合コンサルタント(株)  
 新栄地研(株)  
 フジコンサルタント(株)  
 九州技術開発(株)
- 〔長崎〕-----
- 大栄開発(株)  
 (株)実光測量設計  
 西日本菱重興産(株)  
 大洋技研(株)  
 (株)親和テクノ  
 扇精光(株)  
 西海地研(株)
- 〔熊本〕-----
- (株)九州開発エンジニアリング
- 〔大分〕-----
- 佐伯調査測量設計(株)  
 松本技術コンサルタント(株)  
 協同エンジニアリング(株)  
 (株)日建コンサルタント  
 東亜コンサルタント(株)  
 (株)テクノコンサルタント  
 南海測量設計(株)  
 九州特殊土木(株)
- 大洋測量設計(株)  
 九州建設コンサルタント(株)  
 西日本コンサルタント(株)  
 南武測量設計(株)  
 東洋測量設計(株)  
 九建設計(株)  
 日進コンサルタント(株)  
 ダイエーコンサルタント(株)
- 〔宮崎〕-----
- (株)弓場水工コンサルタント  
 (株)ケイディエム  
 (株)国土地質調査事務所  
 南日本総合コンサルタント(株)  
 (株)宮崎産業開発  
 (株)西田技術開発コンサルタント  
 (株)共和コンサルタンツ  
 (有)福島測量設計調査事務所  
 九州工営(株)  
 (有)久保測量設計コンサルタント  
 正栄技術コンサルタント(株)  
 (株)東九州コンサルタント  
 (有)日豊測量設計事務所  
 日測コンサルタント(株)  
 (株)水理設計  
 (株)ダイワコンサルタント  
 (株)杉田測量設計コンサルタント  
 (株)ジオセンターM  
 (株)都南開発コンサルタント  
 (株)アップス  
 (有)カツキ技術士事務所  
 (株)共同技術コンサルタント  
 (株)総合開発工業  
 (株)国土開発コンサルタント
- 〔鹿児島〕-----
- 朝日開発コンサルタンツ(株)  
 小牧建設(株)  
 (株)久永コンサルタント  
 コーアツ工業(株)  
 大協(株)  
 新和技術コンサルタント(株)  
 (株)中村測量設計  
 (株)日峰測地  
 (株)大紀造園設計事務所  
 (株)建設技術コンサルタンツ
- 〔沖縄〕-----
- (株)沖縄プランニング

## お知らせ

### ◆第6回西日本技術士研究・業績発表年次大会

中・四国支部担当で下記の通り開催されます。参加ご希望の方は九州支部事務局までご連絡下さい。

日時 平成12年7月18日(火)～19日(水)

開催場所 高松市(リーガホテルゼスト高松)

高松市古新町9-1 (087-822-3555)

参加資格 会員・準会員・賛助会員

(発表者は会員のみ)

参加費 大会参加費 5,000円・懇親会費 8,000円  
見学会 4,000円

年次大会 7月18日(火) 10時開会

記念講演 10:15～11:45

演題 「ヨーガで健康いきいきライフ」

講師 香川ヨーガ道友会会長・香川銀行能力開発研究所所長 倉本英雄 氏

昼食休憩 11:45～13:00各自 フリー 自己負担

分科会 13:00～17:00

テーマ:21世紀に期待される技術(仮称)

第1分科会 建設部門関係

8～10題(1題20～30分)

第2分科会 建設部門以外

8～10題(1題20～30分)

懇親会 17:10～19:00

見学会 7月19日(水) 9:00～13:00

満農池および国営讃岐まんのう公園

(工事中)見学,昼食後解散

### ◆12年度中・四国,九州支部合同研修会

本年度九州支部が開催担当することになっているこの研修会は,10月に福岡で開催される第30回日韓技術士会議に合流することになりました。

## 会誌“技術士”最近の主要目次

### 平成12年3月号

- ・巻頭言 エンジニアの空間認識/森田喬
- ・逆浸透膜法とイオン交換樹脂法による重金属含有排水のリサイクル/和田洋六
- ・オゾン層の破壊と冷媒開発/今西忠
- ・コンサルタント業と技術士制度の運用/辻善礦
- ・簡単にホームページを公開する方法/豊田寛仁
- ・中学生が事務所訪問/山田秀雄

### 平成12年4月号

- ・巻頭言 産業技術戦略と耐熱材料技術/田中良平
- ・ミニ特集〔最近の新素材・新材料〕  
非鉄製錬技術の過去と未来/間瀬一夫  
軽量耐熱構造材料/大友暁  
社会ニーズに対応した新鉄鋼材料/佐藤裕二  
粉末冶金の材料技術最近の動向/早坂忠郎  
ガスタービンを支える超合金/山口亨
- ・技術士審議会「技術士制度の改善方策について」の概要

### 平成12年5月号

- ・巻頭言 知恵の代価/平山直道
- ・JCO事故に学ぶ/神山弘章
- ・21世紀のLinux/丑山俊二
- ・三重県立名張西高等学校における情報教育環境の運用管理技術/中野由章
- ・南蛮系カルタの復元に挑む技術士/山口泰彦

- ・マレーシア技術視察報告/古場暉敏
- ・技術士と日本技術士会の英文名称の意見集約結果

## 編集後記

今年の秋,11月13日～15日に「第30回日韓技術士会議」が福岡で開催されます。いま九州支部では実行小委員会でその準備に大わらわのところ。その大筋がまとまりましたので,今回はこれを特集して,その概要をお知らせすることにしました。

日本で韓国が一番近いのが,九州,しかも福岡です。古代からのふれあいも深いところ。今回は韓国の技術士のみなさんも隣家に行くような気持ちで沢山お見えになるでしょう。われわれ九州の技術士も隣からのお友達として,出来るだけ大勢で賑やかにお迎えしたいものです。来て良かったと云っていただけるようでありたいと思います。(完戸)

発行: (株)日本技術士会九州支部

九州技術士センター

〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街7-1

(シック博多駅前ビル204)

九州支部: ☎(092)432-4441

FAX(092)432-4442

E-mail: engineer@joho-fukuoka.or.jp

九州支部ホームページ URL:

http://www.joho-fukuoka.or.jp/kigyo/engineer

センター: ☎/FAX(092)432-4443

印刷: (株)川島弘文社